



Nike+を使った湘南国際マラソン公認バーチャルレースを開催

- 第5回湘南国際マラソン公認 Nike+バーチャルレース -

2010年4月19日

ナイキジャパンでは、2011年1月23日に開催される「第5回 湘南国際マラソン」にあわせ、Nike+の Challenge 機能を使った、「第5回湘南国際マラソン公認 Nike+バーチャルレース」を開催します。

「湘南国際マラソン公認 Nike+バーチャルレース」とは、ナイキランニング公式ホームページ(nikerunning.com)上で開催される仮想レースです。本イベント開催期間中(2011年1月23日(日)AM0:00~1月30日(日)PM23:59 予定)にフルマラソン(42.195km)、ハーフ(20.0975km)、もしくは10K マラソンを、Nike+を使って好きな場所で走り、nikerunning.com にデータを送信すれば、期間中のベストタイムがレース結果として反映され、記録は湘南国際マラソン公認 Nike+バーチャルレース公式記録として認定されます。ランナーは国内外を問わず、どこからでも湘南国際マラソンに参加することができ、バーチャルレース参加者の上位入賞者は湘南国際マラソン公式HPで表彰される予定です。また、本イベントは参加費無料で、すべての完走者に自身のタイムが記されたデジタル完走証や、抽選で「第5回湘南国際マラソン公認 Nike+バーチャルレース」ナイキオリジナル賞品があたります。

ナイキジャパンでは、2008年に初めてホノルルマラソンの開催にあわせ「ホノルルマラソン協会公認 JAL ホノルルマラソンバーチャルレース」を開催。レース開催期間中に、Nike+を使い42kmもしくは10kmを完走したランナーを対象にデジタル完走証の配布などを実施。走ったランデータが記録としてホノルルマラソン協会(HMA)より認定され、約3000の方が参加しました。また、この他にも定期的にnikerunning.com上で「都道府県対抗」や「異種格闘ランバトル」などのバトルレースも開催しています。

「第5回湘南国際マラソン公認 Nike+バーチャルレース」の詳細は、5月上旬頃よりナイキランニング公式ホームページ(nikerunning.com)上にて順次発表していく予定です。

Nike+について

2006年に登場したNike+は、ランニングワークアウトデータ(ペース、距離、消費カロリー)を簡単に蓄積、管理することができるシステムです。また、Nike+を使えばオンライン上で展開されている世界最大のランランニングクラブ「nikeplus.com」を通じて、世界中のランナーとバーチャルレースを展開したり、ゴールを共有したりすることで、ランニングの楽しみ方がもっと広がります。これまでに、ランナーたちはNike+を使い3億km以上(地球約7,500周分相当)の走行距離を走破しており、この距離は日々アップデートされています。

それぞれのランニングライフスタイルにあわせて選べる Nike+

ランナーは、それぞれのランニングライフスタイルに合わせ Nike+を体験することができます。データ計測のための Nike+ センサーを入れる専用ポケットが搭載された Nike+ 対応シューズと、Nike+ SportBand、iPhone 3GS、iPod nano などと組み合わせて楽しむことができます。



Nike + iPod スポーツキット(¥3,400 税込)

「Nike + iPod スポーツキット」のセンサーをシューズにセットし、レシーバーを iPod nano に装着するだけで、ランニング中に音楽を楽しむことはもちろん、

<参考資料>

ペース、距離、消費カロリーの情報が音声とディスプレイで確認できます。



Nike+ スポーツバンド(¥7,560 税込)

Nike+スポーツバンドに同梱されているセンサーをシューズにセットし、Nike+スポーツバンドを手首にはめるだけで、ペース、距離、消費カロリーなどが計測可能。データがディスプレイに表示され、一目で確認できます。

ナイキに関する情報は nike.jp をご覧ください。

ナイキランニングに関する情報は nikerunning.com をご覧ください。

読者、視聴者からのお問い合わせは、ナイキお客様相談室：0120-500-719 となります。